

10・3京都大集会へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2016年9月7日

No.404

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

武田雄飛丸・法大文連委員長の 全学連大会でのアピール!

先ほどからみんなも弾劾している通り、本日(2日目)の朝も公安警察による大会参加者への暴力的襲撃が行われています。これは、昨年の全学連大会での解散過程における都営新宿線浜町駅ホームでの襲撃以来、ずっと続いていることです。昨日の朝も、京都大の仲間たちに対して公安警察の襲撃が集中的に行われました。そこに明らかのように、昨年の10月27日の京大反戦バリケードストライキを、敵は本当に心の底から憎悪し恐怖しているということです。事前に「ストライキをやるぞ」と宣言し、実際にストを貫徹した。こうした力関係の中で、国家権力との関係もきわめて緊張的・激突的になっています。

あらためて、現在の新自由主義大学の中からストライキに決起する意義を、絶対に低めてはいけないと思います。昨日(9月1日)付けの『東京新聞』トップに出ているわけですが、来年度予算概算請求において、防衛省が直接カネを支給して、大学における軍事研究を助成するための「安全保障技術研究推進制度」の予算を、昨年度の3億円、今年度の6億円から、一気に110億円と18倍に激増させました。自民党は100億円を要求していましたが、それに10億円も上乗せしています。大学に軍事研究をゴリゴリやらせていくという、敵のエスカレーションが激しい。これに対して僕たちが実力行動を復権させようとしています。国家権力の側は実力行動が爆発すること



を何よりも注意深く見えています。

法政大は僕を「無期停学」処分にしていますが、僕は法大キャンパスで戦後的な「民主主義」すら奪われていく中で、活動を始めました。歴史的に守り抜いてきたものが、どんどん壊されていく。なくなっていく。破壊されていく「民主主義」的なものに、いまだ幻想を抱いている人たちも学内にはいると思います。だから、あらためてストライキや実力行動という問題になった時、心の中で「待った」がかかる傾向はあると思います。その上で、敵の攻撃のエスカレーションを見ると、本当に今は「戦争か革命か」というところに来ているんじゃないかと思っています。

10月3日の京大本部時計台前(クスノキ前)集会を、大会に参加しているみんなで全力で盛り上げていく立場で、

4学生への無期停学処分撤回!

10・3京都大集会

10月3日(月)11時50分 京大本部時計台前(クスノキ前)

12時 集会開始

12時45分 第2回署名提出行動

【主催】京都大学全学自治会同学会中央執行委員会



僕も9月は京都大の現地に行つてともに闘います。やっぱり「全学連」が「全学連」である意味は、全国の団結にあります。京大闘争の歴史すべてがそうだし、昨年京大反戦バリスト以降の闘いはとりわけそうです。各単一の大学だけの闘いでは絶対に突破できないことはいっぱいあります。だからこそ、一大焦点になっている京大で風穴をこじ開け、「ストライキは当たり前なんだ」という「常識」を僕らの世代で絶対につくっていききたい。みなさん、京大クスノキ前集会に1万人を結集させるという試みは、きわめて壮大な闘いですが決して不可能ではありません。

僕も法大入学当初は全然政治には興味がなくて、2010年以降に活動と討論を積み重ねる中で、初めて「この社会はおかしい」と思っていったわけですが、その時と比べてもこの6年で大学は激しく変貌しているし、このままだけに国家権力や大学当局は学生の生活と未来にまったく責任を取らないどころか、侵略戦争に教育と学生を全面動員するまで攻撃を激化させてきます。東北大学での非正規職労働者の大量解雇問題を含めて、大学を根底的に変革すべき時が来ているのは明らかですので、僕自身もこれ以上は後がないという立場で、京大生—全国学生とともに闘っていきます。そして一緒に、僕への「無期停学」処分も撤回させていききたいと思っています。

僕は法大文化連盟委員長ですが、今回、新たに全学連副委員長になります。僕も作部君と同じで、事前にその話を受けた時に迷いはありました。しかし、今回の大会を経て、多くの新しい仲間が合流してきて、これから京

大で処分撤回闘争が高揚していくことは不可避で、その攻防が爆発すればするほど、全国大学での学生運動の後押しであり、全学連運動の総力であり、特に首都圏での法大を軸にした闘いの爆発がよりいっそう求められていく構造になります。新しい仲間をすべて獲得することも含め、僕にもう一頑張りも二頑張りも要求されています。

あらためて、京大の仲間の話を聞かせてもらっていると、もしくは当局とのやり合いの経過を聞いていると、処分には腹が立ちますよね。僕も処分されて4年近くが経つんですが、処分への怒りを日々燃やし続けるということは相当な意識性が必要で、簡単にはそうはならないんです。しかし今回、処分された京大4学生と論議し、大会会場前での公安警察のあまりにも分かりやすすぎる暴力的弾圧を見て、昨年の安保国会決戦での機動隊やシールズとの激突を思い出しました。目の前の理不尽や処分に対して、新たに出てきた仲間とも怒りを共有して、一緒に闘っていくために僕自身が変革していききたい。

今回、副委員長に就任ということで、全学連の看板に泥を塗らないように(笑)頑張っていきたい。繰り返になりますが、東京の学生運動が奮起しなくちゃいけない。革命は首都から起こるんです。自分の変革と、首都圏学生運動の爆発を一体でかちとっていききたい。法大でバリストができるような力関係をつくりたい。そして、2020年東京オリンピックをぶつつぶすバリストをやりたい。京大決戦勝利、法大・首都圏での拠点建設へ、大会参加者のみなさん、団結して一緒に頑張りましょう！

【当面する行動方針】

●9・16法政大開講日デモ～京大闘争連帯～

9月16日(金) 12時半 法大市ヶ谷キャンパス集合 13時 デモ出発(13時半終了予定)

●“市東さんの農地死守!” 10・9三里塚全国集会

10月9日(日) 正午～ 三里塚現地・反対同盟員所有地にて

【主催】三里塚芝山連合空港反対同盟



国境をこえた団結で朝鮮侵略戦争と労働法制改悪阻止へ!

11・6全国労働者総決起集会

11月6日(日) 正午 東京・日比谷野外音楽堂

民主労総11・12労働者大会

11月12日(土) ソウル



<呼びかけ> 全国民主労働組合総連盟ソウル地域本部(民主労総ソウル地本)／国鉄千葉動力車労働組合(動労千葉)／全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部(関生支部)／全国金属機械労働組合港合同(港合同)